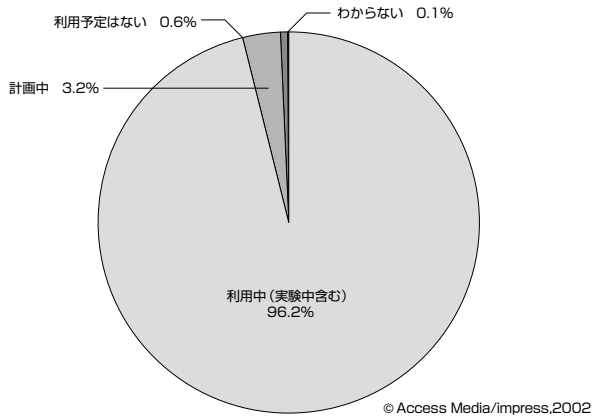


## 第4章 企業

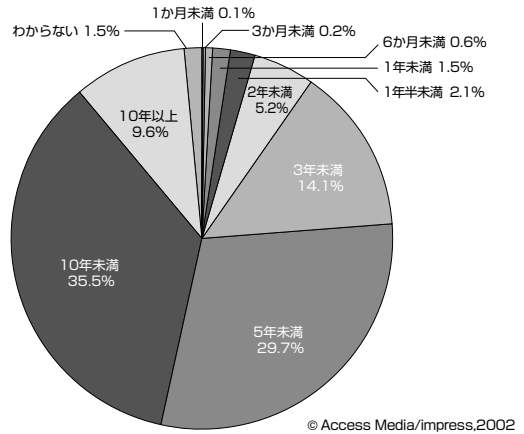
### 利用状況/ドメイン

### 中規模企業にも浸透

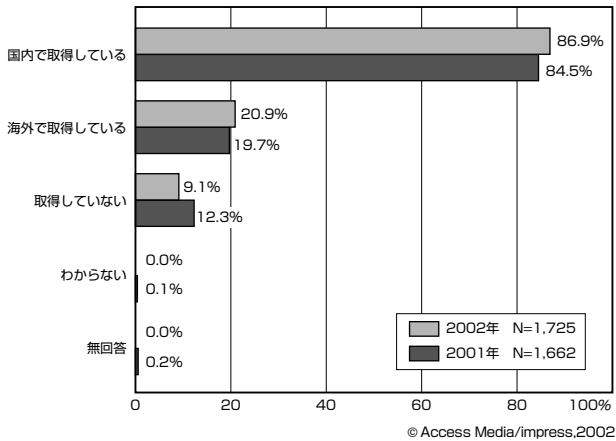
資料1-4-1 インターネット技術の利用有無 N=1,794



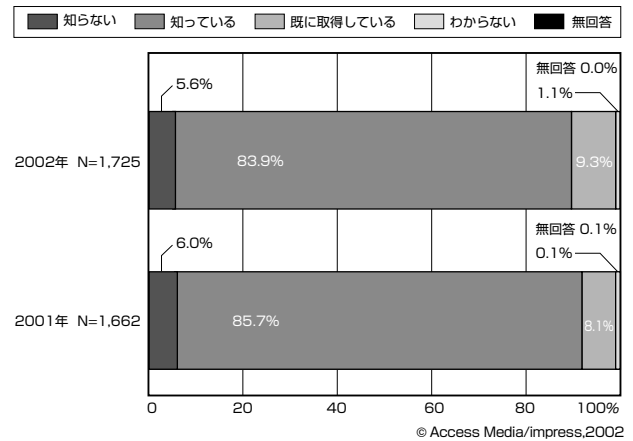
資料1-4-2 インターネット利用歴 N=1,725



資料1-4-3 自社ドメイン取得状況 (2001年-2002年) N=1,725



資料1-4-4 日本語ドメインの認知 (2001年-2002年)



## 解説

今年の「企業のインターネット利用実態調査」では、アクセスメディアインターナショナル所有の5500のコンピュータ利用事業所に対して質問票を郵送し、1623サンプルの有効回答を得ている。また、補完的にウェブサイトでも同じ内容のアンケートを行い、有効回答171サンプルを得た。これらを合わせた集計分析結果が以下である。

### ■利用状況/ドメイン

コンピュータ利用企業におけるインターネット技術の利用有無については昨年の96.6%とほぼ横ばいの96.2%となった

(資料1-4-1)。昨年と比較して、この値は誤差の範囲であるとみてよい。企業におけるインターネットの導入はすでに落ち着き、今後は従業員数における浸透度や利用機器の範囲の拡大といった企業内浸透度が指標となるであろう。

インターネットの利用歴(資料1-4-2)については、インターネット白書創刊以来、時間の経過とともに着実に伸びてきたが、今年は特に「5年以上10年未満」と「10年以上」を合わせて全体の45.1%を占めるに至った。

従業員規模別でみると、1000人以上

の企業で利用歴「10年以上」が2割を超えているが、昨年5000人以上の規模だけで2割を超えていたことから、インターネットが大規模の企業から徐々に中規模の企業にまで浸透してきたことがわかる。

日本では、2001年2月から汎用JPドメイン名の登録が始まり、ドメイン名登録の自由度が大幅に拡大した。1組織に1ドメイン名の原則といった登録規制が緩和され、登録手続き自体も簡素化し、企業名以外に商品名やブランド名、個人名での登録や日本語でのドメイン名も可能となり約1年が経った。昨年と比べると日



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)